

## 8/20（火）以降、本来の状態で見られなくなる作品について

あいちトリエンナーレ実行委員会と、申し出のあった各アーティストそれぞれが協議をした結果、出品作品の一部を8/20（火）から一時中止することになりました。

●展示が一時中止となった理由：

（1）「表現の不自由展・その後」が中止されたことを受け、表現の自由が失われたことへの抗議の意思表示。

（2）作品が展示されていない作家への連帯の意思表示。

●「作品は見られますか？」という質問への回答について。

・作品としては「一時中止」で、「作家の意図した作品本来の状態ではご覧いただけません。」というのが回答。

・ただし、「音楽の停止、照明の消灯など状態を変更することで、物理的にはご覧いただけるものもあります。」と補足してご説明してください。

・「表現の不自由展・その後」がもし再開されたら、本来の状態に戻ることになっています。

●例外：CIR（調査報道センター）

・CIRについては、「一時中止」ではなく「辞退」。

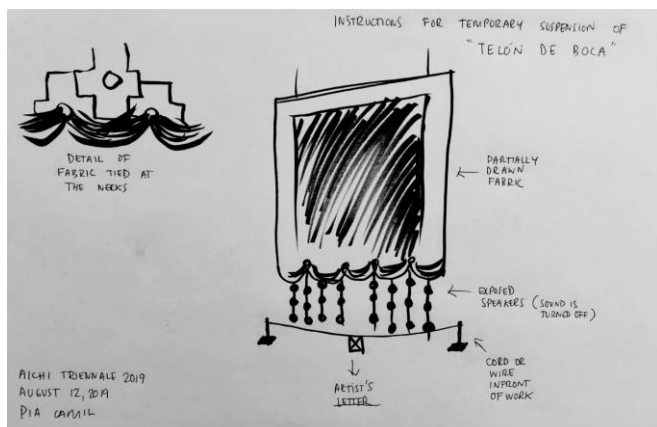
・「表現の不自由展」の再開の有無にかかわらず、展示は終了となります。

・「辞退」の理由は、「報道機関にとって表現の自由はその使命の核にあるもので、展覧会への参加が、表現の自由という価値と衝突しかねない立場になる」ため。

展示を一時中止する申し出があった 11 組のアーティストの一覧と状況は以下の通り。

### ○愛知芸術文化センター

- ・ピア・カミル【展示一時中止・本来の姿からは変わっています】



- ・音楽が停止します。
- ・Tシャツを数メートル、まくり上げた状態になります。
- ・作家によるメッセージが掲出されます。

- ・ドラ・ガルシア【展示一時中止・本来の姿からは変わっています】

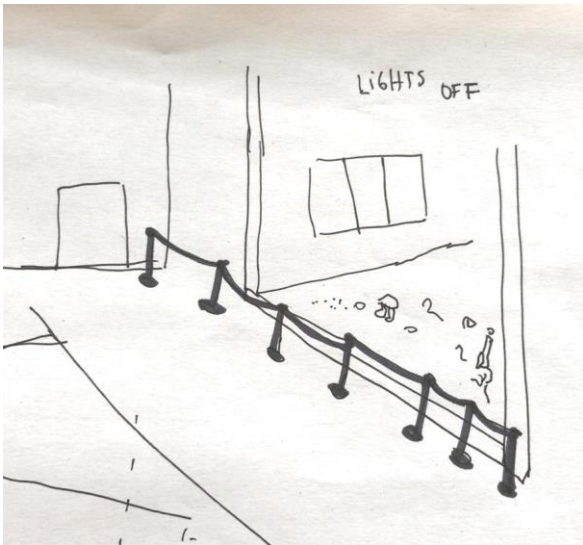


- ・ポスターの上に、作家メッセージが張り出されます。
- ・「ロミオ」たちはこれまで通り活動します。

- ・レジーナ・ホセ・ガリンド【展示一時中止・本来の姿からは変わっています】

- ・映像が停止。
- ・映像に登場するパーティー会場の飾りつけの残骸のようなものが展示室に加わります。
- ・お客さんの動線としては変更ありません。

・クラウディア・マルティネス・ガライ【展示一時中止・本来の姿からは変わっています】



- ・立体作品の展示作品の前に、パーテーションを設置します。
- ・展示照明が消灯になります。
- ・映像展示は停止（部屋に入れない状態）になります。
- ・動線的には、通り抜けは可能です。（映像の部屋には入れませんが、ウーゴの部屋から永田さんの展示室には入れます。）

・ハビエル・テジェス【展示一時中止・展示室の閉鎖】

- ・展示室の扉を閉め、映像が停止します。
- ・扉に、作家のメッセージが張り出されます。

・タニア・ブルゲラ【展示一時中止・展示室の閉鎖】

- ・展示室の扉を閉め、機能が停止します。
- ・扉に、作家のメッセージが張り出されます。

○名古屋市美術館

- ・モニカ・メイヤー【展示一時中止・本来の姿からは変わっています】
- ・参加者から集めた「回答カード」を回収します。
- ・何も書かれていない「回答カード」が破られた状態で床にまかれます。
- ・カードをかけるロープと、壁の写真などがそのまま残ります。

- ・ドラ・ガルシア【展示一時中止・本来の姿からは変わっています】



- ・ポスターの上に、作家メッセージが張り出されます。
- ・「ロミオ」たちはこれまで通り活動します。

○豊田市美術館

レニエール・レイバ・ノボ【展示一時中止・本来の姿からは変わっています】

- ・壁にかかった絵画を、今回の「表現の不自由展・その後」に関して報道する新聞で覆うなどします。

【既に一時中止をしているアーティスト】

○愛知芸術文化センター

パク・チャンキョン

イム・ミノク

【対応協議中のアーティスト】

○愛知芸術文化センター

ウーゴ・ロンディノーネ

※「表現の不自由展・その後」については、企画展の実行委員会と事務局が今後も協議していく方針が確認されています。